

ProMED-mail 情報 2019年 4月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日4	表題	概要
29日	ラッサ熱 ナイジェリア	今年4月21日までに21州から確定546名、疑い15名の報告。最近の1週間で、6名の確定報告。死亡123名で死亡率22.5%。医療従事者感染は7州に17名。接触調査は7,193名になされ、116名の有症者中56名が検査陽性。
28日	淋病 ヨーロッパ	2017年全欧で前年増の89,239例報告。内訳はイギリス55%、フランス10%、スペイン9%、オランダ8%。北欧の方が高い罹患率。男性間性交者が全体の約半数を占め、性行為感染症でクラミジアに次いで2番目に多い。
28日	狂犬病 タイ	タイの狂犬病死亡数は2016年14名、2017年11名、2018年不明。6ヶ月前に野良犬に咬まれワクチン接種しなかったスリン県32才男性が、今月に発症し死亡。今年度1例目の死亡報告。
18日	麻しん 世界	WHOは、2018年の全世界で28,000名から、2019年当初3ヶ月だけで驚異的112,000名の確定報告。20年前に麻しん根絶の米国でも今年20州で555名の報告。オーストラリアは92名報告。旅行による世界的流行の危機。
17日	デング熱 アジア	2019年症例数、スリランカ13,505名(死亡11名)、マレーシア38,000名(死亡59名)、シンガポール2,099名(死亡3名)、フィリピン55,976名(死亡227名)、モルジブ1,303名。
16日	サルモネラ感染症 米国	ルイジアナの食品会社出荷の汚染冷凍マグロによる食中毒が4月15日までに7州、13名に判明。2名が入院中で、死者なし。9名はすしを摂取。食中毒調査は、CDCが協力するパルスネット検査システムでなされた。
15日	サルモネラ感染症 米国	インディアナポリスの食品会社製造のカットメロンによる食中毒が4月2日～12日までの調査で判明。9州、93名に発症し、23名が入院中で死者なし。
10日	麻しん 韓国	京畿道の2病院で集団感染。安養市の病院で、25名(医師・看護師22名、患者3名)を確定診断、4,349名を健康監視中。当病院勤務者2,000名の麻しん抗体検査で陰性179名。太田市の病院では、7ヶ月女児から入院中の小児7名に感染。
6日	鳥インフルエンザH7N9 中国	中国保健当局が甘肅省で今年初のヒト症例を発表。甘肅省82才男性で、入院して重症。過去の報告数は、2013年3月以来6波の流行で計1,568名。主に鳥との接触で感染し、老人、小児、慢性疾患者に重症化リスク有り。
4日	ヒストプラズマ症 イタリア	メキシコ、チアパス州の洞窟に3月4～8日滞在した研究者18名中9名が、帰国後5～7日後に急性肺ヒストプラズマ症発症。感染源は洞窟コウモリ糞中のヒストプラズマを吸入した疑い。6名に肺CTで多発性硬化結節を認め、イトナコナゾール投与開始。
2日	クンジンウイルス オーストラリア	クンジンウイルスはフラビ属日本脳炎ウイルス群に分類され、マレーバレー脳炎同様、オーストラリアの蚊媒介感染症。保健省はダーウィン地区のベクター調査からウイルス活動が高いため、防蚊対策を発令。
2日	アフリカ豚コレラ (ASF) 日本	豚コレラより致死的なASFは、昨年中国で流行し、ベトナム、モンゴルにも拡散中。1月12日、中部空港動物検疫にて上海、青島からの乗客の手荷物のソーセージから感染性ASFウイルスを日本で初検出。
1日	住血吸虫症 ミャンマー	ミャンマーの流行地域はラカイン州で2016年10月～2018年6月に302名報告。寄生虫に汚染された淡水との接触により流行。巻貝を中間宿主とし、イヌやげっ歯目など46種のほ乳類へ寄生する動物由来感染症。